

8 2025 三重病院 ニュースレター news letter vol.307

- 01 ツウちゃんの病院探検〈北3病棟〉
- 02 発熱時におけるよくある質問
- 03 2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
5病棟の生活のひとコマ
- 04 異動のごあいさつ
糖尿病ワンポイントアドバイスNo.13
- 05 通所支援事業のひとコマ
今月のみえツウちゃん
- 06 病院からのお願い／外来診察のご案内

ツウちゃんの病院探検 北3病棟

三重病院の3階建ての中央棟は、入院病棟となっています。3階には成人病棟の北3病棟と南3病棟がありますが、窓からは経ヶ峰を望み、周囲は緑に囲まれとても眺めがよく静かな環境です。北3病棟は、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、脳神経内科、耳鼻咽喉科、アレルギー科、小児科（重症心身障害児（者））の混合病棟となっています。

まず糖尿病・内分泌内科では、糖尿病専門医や肥満専門医、また糖尿病療養指導士を認定されている看護師が常勤しており、日本糖尿病学会認定教育施設として専門的な治療を受けることができます。糖尿病や肥満症は、正しい知識を学び、患者様自らが管理できるようにすることが大切です。治療プログラムとして、2週間の「糖尿病教育入院」や「減量教育入院」があり、患者様に合わせた食事療法・運動療法・薬物療法に、医師や看護師、薬剤師、栄養士、検査技師、理学療法士などの医療スタッフがチームで関わっています。また、ご高齢の患者様が、退院後もご自宅で安心して療養できるように、社会的サービスの調整などを行っています。

北3病棟は混合病棟とお話しましたが、脳神経内科では、脳神経内科疾患の患者様が様々な治療ケア・介助やリハビリを受けながら療養されています。耳鼻咽喉科では、通院での治療が難しい顔面神経麻痺や突発性難聴の患者様、急性感染症で点滴治療が必要な患者様を受け入れています。アレルギー科は、アトピー性皮膚炎の患者様の教育入院としてスキンケア方法や実践方法を指導しています。成人の食物負荷試験の検査目的入院もあります。また、ご自宅で介護を受けている重症心身障害児者の短期入院も受け入れています。

さらに、2025年4月に循環器内科として循環器

内科専門の医師を迎え、心臓リハビリテーションができるようになりました。慢性心不全や冠動脈疾患、心臓病術後の患者様が、体力を回復して自信を取り戻し、快適な家庭生活や社会生活に復帰できるように支援しています。



このように、北3病棟には様々な診療科の患者様が、短期間から長期間入院しています。特に、長期入院や重症心身障害児者の患者様が多いので、入院生活の中で少しでも季節を感じていただけるように、今年は看護師による環境改善活動に力を入れています。例年以上に暑く、梅雨の期間も短かった7月は雨やアジサイの花、七夕の彦星・織姫などをテーマに、病棟入口や廊下に折り紙で作成した飾りをつけました。患者・ご家族様が、快適に入院生活を送っていただくことができるように、日々取り組んでいます。

（北3病棟 看護師長 白藤 真紀）



次回は5病棟です